

第1問 下の〔 〕は、小学校第2学年国語科「A話すこと・聞くこと」の学習指導案の一部です。後の問1～問3に答えなさい。

第2学年国語科学習指導案

1 単元名 「夏休みの思い出を報告しよう」

2 単元の目標

- (1) 身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。〔知識及び技能〕 (1)オ
- (2) 相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考
えることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕 A (1)イ
- (3) 話し手が知らせたいことを落とさないように聞き、話の内容を捉えて感想をもつこ
とができる。〔思考力、判断力、表現力等〕 A (1)エ
- (4) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考
えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

3 単元で取り上げる言語活動

夏休みの思い出について報告したり、それらを聞いて感想を記述したりする。

(関連：〔思考力、判断力、表現力等〕 A (2)ア)

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使っているとともに、語彙を豊かにしている。 ((1)オ)	①「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。(A (1)イ) ②「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことを落とさないように聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A (1)エ)	①進んで、相手に伝わるように話す事柄の順序を考え、学習の見通しをもって報告しようとしている。

5 指導と評価の計画 (全7時間)

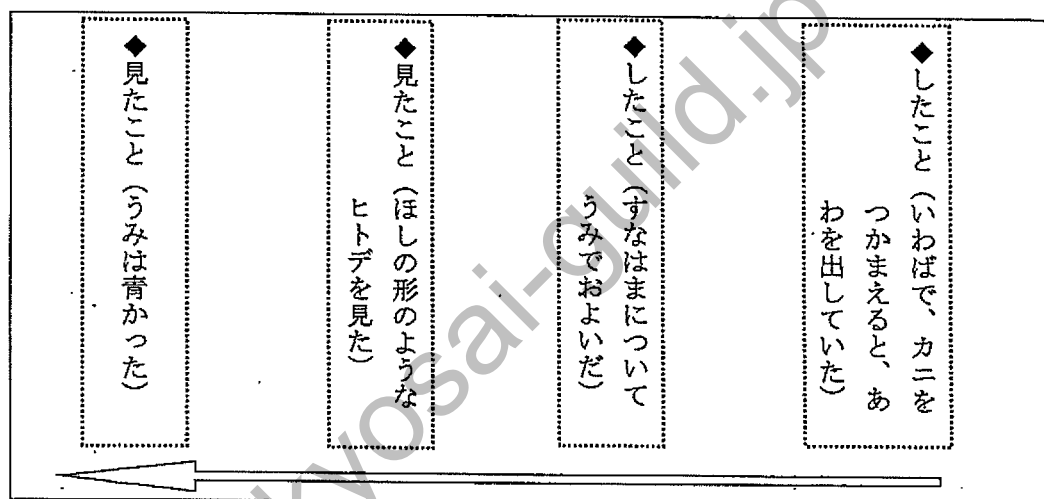
時	○学習活動	◇指導上の留意点	・評価規準 (評価方法)
1	○	◇	
2 ・ 3 ・ 4	○ 「始め—中—終わり」といった話の構成で話すことを確認し、「始め」と「終わり」については先にノートに記述する。	◇ 図を児童に示し、「始め」には、「いつ・どこで・だれと・どうした」を、「終わり」には、「全体を通して思ったこと」をそれぞれ一文程度で記述できるようにする。	

	○ 「中」の部分については、必要な事柄を四つから六つ程度カードにそれぞれ書き出す。 ＜カードの種類（例）＞ ・見たこと ・したこと ・かんじたこと 等 ○ 夏休みの思い出を友達に報告するためにはどのような順序で話したらよく伝わるかを考えながら、ワークシート①の該当箇所にカードを置き、その理由を書く。 ○ 友達と交流した上で、カードの並び順を見直し、その順序で報告しようとした理由をワークシート②に書く。	◇ 選んだ思い出を詳しく想起できるように、日記や写真等を基に、経験や行動を振り返るよう助言する。 ◇ 事物の内容を表す言葉、経験したことを表す言葉、色や形を表す言葉を確認し、カードの中で必ず用いるよう指導する。 ◇ 物事や対象についてどのような順序で説明すると伝わりやすくなるか（例えば、経験した順に並べるなどの時間的な順序、感動の大きかったことの順に並べるなどの事柄の順序）について例を示す。 ◇ 友達が並べたカードの順序と比べてみたり、友達と相談をしたりしながら、並べる順序を考えるよう促す。 ◇ 最初の並び順から交流後に決めた並び順になった過程を振り返り、交流後の並び順に決定した理由を書くことができるようにする。	・知識・技能① （カード） ・思考・判断・表現①（ワークシート①） ・主体的に学習に取り組む態度①（観察・ワークシート②）
5 ・ 6 ・ 7	○ 声に出して、夏休みの思い出について報告する練習をする。 ○ グループ内で夏休みの思い出について報告し合い、質問する。報告が終わったら、ワークシート③に感想を書く。 ○ 夏休みの思い出を報告するという学習を通して学んだことを振り返る。	◇ 互いの話し方（声の大きさや速さ）について、特に良いと思ったところを伝え合うようにする。 ◇ グループ編成に際しては、前時で交流していなかった児童に報告できるよう配慮する。 ◇ 聞き手は、話の内容や報告の順序に注意して聞き、それらを踏まえて自分が感じたことをワークシート③の感想欄に記述するように指導する。 ◇ 本単元の目標に則して身に付いたこと、今後の学習や生活の中で生かしていきたいことについて記述できるように助言する。	・思考・判断・表現②（ワークシート③）

問1 T教諭は、「単元の目標」を達成するために、第1時において、「夏休みの思い出を報告する」という学習の見通しを児童にもたせようと考えました。第1時に児童が行う学習活動と、指導上の留意点を書きなさい。

問2 児童Xは、第2・3・4時における、友達と交流した上でカードの並び順を見直す学習の際に、友達や教師との関わりを通して、カードの並び順を検討しようとしていませんでした。そのため、T教諭は、[主体的に学習に取り組む態度]①の評価に当たり、児童Xを「努力を要する」状況(C)と評価しました。この児童Xに対し、「おおむね満足できる」状況(B)とするために、どのような問いかけが考えられるか具体的に2つ書きなさい。

問3 児童Yは、第5・6・7時において、【図1】に示すカードの順序で夏休みの思い出について報告しました。児童Zは、児童Yの報告を聞いて【図2】ワークシート③に感想を記述しました。T教諭は、[思考・判断・表現]②の評価に当たり、児童Zを「おおむね満足できる」状況(B)と評価しました。T教諭が「おおむね満足できる」状況(B)と判断した理由を児童Zが書いた感想の内容を踏まえて書きなさい。



【図1】児童Yが報告した順にカードを並べたもの

Yさんのほうこくを
きいて

Yさんのなつ休みのおもいで
をきいて、うみでたいけんした
ことがよくわかりました。
はじめに、はっけんしたカニ
のようすをはなしてくれたの
で、Yさんのおどろきがよくつ
たわってきました。
それから、すなはまでおよい
だことやヒトデをみたこともわ
かりました。
わたしも、うみにいきたくな
りました。

【図2】児童Zがワークシート③に書いた感想